

鹿市医狂壇



558 樋口 一風 選

兼題「地震（なえ）」

天

大鯰が暴れちよつたる凄（な）い地震

紫南支部 加治屋犬好

（唱）トラフン底で何かあつたら

（評）おとき話の中では、そう言っていました。現在の大鯰は、南海トラフでしょう。

発生予想は30年以内に巨大地震の発生率が70%とか、困った大鯰です。メルヘンの世界で語るのは、他愛が無くて楽しいのですが、子供や孫のことを考えると鯰などと、言っておれない状況です。人間の知恵で何とかならないものでしょうか。避難の準備をしておきましょう。面白い表現でした。

地

親父よか雷（かみなり）よつか怖（おそ）じか地震

伊敷支部 谷山五郎猫

（唱）昔も今も変らん順序

（評）一番は地震、二番は雷、三番が親父と、ことわざで、怖さの順番が決まっていたようですが、最近の親父の順番は、欄外からも分からないが、やはり一番は地震でしょう。小さい頃の親父はやはり怖い存在でしたが、親父になって、大したことは無かったのだと分かりました。雷の稲光は美しいと思うこともあります。根こそぎの災害に、地震だけは心底怖いと思います。ましてや津波を連れて来られたら、地震は一番怖いです。

人

強（つよ）え地震い部屋で固（かた）まつ夜が明（あ）けつ

上町支部 吉野なでしこ

（唱）魂（たま）しゃひつ飛（と）でわなわな身震（みぶる）れ

（評）地震に過敏症の人を知っています。この人もそうなのでしょう。実際の震度4以上は知りませんが、地震体験車の震度7で怖い思いをしたことがあります。あれが突然来ると大概の人はびっくりします。最近は緊急地震速報が出て覚悟をする時間があるので、そう驚かないで済みます。でも部屋の家具がミシミシガタガタ揺れると生きた心地はしないです。

秀逸

しょう。。「固（かた）まつ」で怖さを強調してあります。

五客一席

上町支部 吉野なでしこ

ドドーンち地震と間違（まちが）つた大（おほ）て噴火

（唱）音（おと）と一緒（いっしょ）き建具（けんぐ）も揺（ゆ）れつ

五客二席

紫南支部 二軒茶屋電停

大（おほ）か屁（へ）地震（ち）が来（き）たこつ凄（な）ぜ響（ひび）つ

（唱）音（おと）い驚（おどろ）つ跳（は）だ膝（ひざ）猫（ねこ）

五客三席

伊敷支部 谷山五郎猫

大（おほ）て地震（ち）い猫（ねこ）も驚（おどろ）つ狼狽（ばた）ろつ

（唱）何（なん）か異変（いへん）ち獣（けだもの）の勘（かん）

五客四席

上町支部 吉野なでしこ

強（つよ）か地震（ち）へ屋根（や）根（ね）が落（お）えんじほととしつ

（唱）踏（ふ）ん張（は）つちよつた古（ふる）い鬼瓦（おにがわ）

作句道場

今月の句から。

○我が故郷（きこく）は台風（たいふう）も地震（ち）も準備（しん）つ有（あ）つ
○地震（ち）ん次（つ）ぎや二三（にさん）が無（な）して怖（おそ）じた父（ちち）親（おや）
という二句がありました。

句としては別に悪い句ではないのですが、前の句は、「台風」と「地震」を并列

万歩（まんぽ）計（けい）ゆ下げたで頑張（がんぱ）つ遠回（とほ）い 諸木 小春

（唱）鶏（けい）と卵（たまご）とどつちが先（さき）か

終（は）めなつて分（わ）いボタンのかけ間違（まちが）ひ 井上 三ちゃん

（唱）最初（は）い分（わ）かれれば苦勞（くろう）どま無（な）かが

退院（たいえん）ぬ桜吹雪（おうふき）が祝（いわ）つ舞（ま）つ

内野 茶柱

（唱）感謝（かんしゃ）感謝（かんしゃ）ち思（おも）は万感（ばんかん）

焼酎（しょうちゅう）は飲（の）め言（い）う医者（いしや）様（さま）を名医（めい）言（い）つ 前村 泰山
弱（よ）弱（よ）しゆなつ杖（つゑ）が頼（たの）みの医者（いしや）通（と）い

狂句募集

◎8号
題吟「日傘（ひがさ）」
締切 令和8年7月6日（月）
◎9号
題吟「嗅（か）ん（かす）ん」
締切 令和8年8月5日（水）
◇選者 樋口 一風
◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募ください。選者が適宜漢字をあてさせていただきます。
◇応募先 千八九二一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会「鹿児島市医報」編集係
TEL 〇九九一二六―三七三七
FAX 〇九九一二五―六〇九九
E-mail: ihou@city.kagoshima.med.or.jp

に、後の句は地震よりも、怖いのは親父で、地震以外のことを強く詠んであります。これが雑吟ならば問題はないのですが、課題吟（今回は地震）の場合は、「地震」を主題に詠んでください。

薩摩狂句鑑賞 196

薩摩狂句暦

三条風雲児著 から
（平成元年五月一日発行）

鮎（あ）や釣（つ）れし魚籠（うい）が恥（は）ずけた解禁日

田辺 長作

鮎（あ）漁（り）が解禁（かいしん）になって三日目。待ちかねていた太公望（たいこうぼう）たちが、わんさと押し掛けてきているようである。

解禁日の早朝「たくさん釣（つ）って来るから、楽しみにしているよ」などと出かけたのだろうが、鮎（あ）だって必死（ひっし）、そうやすやすとは釣（つ）られたくはあるまし。

大きな魚籠（うい）が恥（は）をかけた釣果（てうこ）に、「今日は良い場所とられてね」なんて言いわけしたことだろう。

選挙（せんぎょ）前（ま）厄介（やくがい）な相談（さうだん）うけかぶつ

中里 飯語

衆参同日選挙ということで、今日召集